

教 育 長 様

代表者 校園名 : 大阪市立宝栄小学校 公印  
 校園長名 : 西畠寧三  
 電話 : 6971-6300 F A X : 6971-9617  
 申請者 校園名 : 大阪市立宝栄小学校  
 職名・名前 : 校長 西畠寧三  
 電話 : \_\_\_\_\_ F A X : \_\_\_\_\_  
 代表者校園 事務職員名 : 志賀 智彦

## 平成 29 年度 「がんばる先生支援」 グループ研究 報告書

◇ 平成 29 年度「がんばる先生支援」グループ研究について、次のとおり報告します。

1 研究コース :	グループ研究 A コース · <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">グループ研究 B コース</span>	
継続研究 :	継続研究 ( 2 年目 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">3 年目</span> )	
2 研究テーマ ICT 機器の効果的活用を通して「主体的・対話的な深い学び」を追求する		
<p>◆ 研究内容のキーワード :</p> <p>情報活用能力の育成    ICT 機器の効果的活用    主体的で対話的で深い学び</p>		
3 研究目的 :		
<p>○ 情報活用能力の育成に向けての手引書「情報活用ノート」を活用して低学年・中学年でも情報活用能力の育成を図る。</p> <p>○ 教科の学習をより深めため、整備された ICT 機器の効果的な活用図る。</p> <p>○ プログラミングについては部員の研修課題として情報交換する。</p>		
4 取り組んだ研究内容 :		
<p>○ 5/10 幹事会 本年度の研究の目的・方法の確認(役員での話し合い)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>‣ 今年度の研究の進め方と役員・チーフの人選</li> <li>‣ プログラミング教育の取り扱いと部会編成</li> <li>‣ 今後の日程の確認</li> </ul> <p>○ 5/17 役員会 本年度の研究の方向と組織の承認</p> <p>○ 5/31 研究員総会 (宝栄小学校 36 名 参加) 研究の方向と組織・今年度の日程の確認</p> <p>○ 7/31 プログラミング教育研修会 電気通信大学 寝屋川キャンパス 23 名参加</p> <p>○ 8/18 教育センター 教育課程研修会報告 ICT 機器の活用玉手箱      晴明丘南小 岡下 敦哉 加賀屋小 豊島 克充      学習指導基本研修会 プログラミング教育について      宝栄小 西畠寧三</p> <p>○ 10/13 授業研究会B 1年生道徳 「する。するくない」 鷹合小 松田祐子</p> <p>○ 10/19 役員会 進捗と今後の確認</p> <p>○ 11/17 近畿放送視聴覚教育研究会 夏季特別研修会 実践報告      南田辺小学校 木下 誠栄 6 年 国語科「町の未来をえがこう」</p> <p>○ 11/21 授業研究会B 4 年生社会科 「大阪府の産業と人々の暮らし」 福小 岡嶋耕太郎</p> <p>○ 11/22 授業研究会A 2 年生国語科 「どうぶつのひみつクイズを作ろう」 北粉浜小 堀野正典</p> <p>○ 12/1 授業研究会A 3 年生国語科 「はたらく犬リーフレット」をつくろう 鮎江東小 栗田和真</p> <p>○ 1/23 研究委員総会 総合研究発表会に向けての準備と確認</p>		

情報活用能力育成を目指す A部会

ICT機器の効果的活用を図る B部会 は適宜開催

内容は上記、4回の授業研究会の指導案検討、授業反省、資料作成などを行う

また、総合研究発表会に向けてこれまでの実践をまとめた作業と研究報告を実施。

これ以外にも ICT 関連団体が実施するICT関係の研修会開催の情報交換をし、参加を促す。

## 5 成果・課題

### 成果

#### ○授業研究会

- 10/13 授業研究会B 1年生道徳 「ずるい。ずるくない」 鷹合小 松田祐子
- 11/21 授業研究会B 4年生社会科 「大阪府の産業と人々の暮らし」 福小 岡嶋耕太郎
- 11/22 授業研究会A 2年生国語科 「どうぶつのひみつクイズを作ろう」 北粉浜小 堀野正典
- 12/1 授業研究会A 3年生国語科 「はたらく犬リーフレット」をつくろう 鮎江東小 栗田和真

授業の結果については別紙研究発表会冊子を参照してください。

#### ○総合研究発表会

参加者アンケートより 参加者 372 名 アンケート 56 部 数値は%

項目	大変	なった	あまり	ならない
本日の授業は参考になったか？	23.2	66.1	1.7	0
視聴覚部の発表は参考になったか？	19.6	75.0	5.4	0
指導講評・演会は参考になったか？	32.1	55.4	10.8	1.7

アンケートの数値からもわかるように、参考になる研究・提案ができたものと考える。

A 部会が提案した情報活用能力に関する目標分析や情報活用シートなど、すぐに授業で活用したいものを提案できた。また、1 年生のタブレット端末使用を参観してもらって、自分でも使ってみたいとの声もあった。

B 部会では道徳以外にも社会科や理科の教材で NHK for School を活用したいとの意見、道徳でワークシートの活用や話し合いの時間の確保などに着目した感想や意見をいただいた。

#### ○ロボット

部で購入し、ロボットは宝栄小 4 年生、今里小パソコンクラブで試験的に実践されている。現在、実践中のため、今後実践のまとめを行う。

### 課題

- ✓ ICT 機器活用と学力向上の関係が明確にしめすことができる指標、調査方法がなく、主体的・意欲的に活動しているが、そのことを数値化する方法を探りたい。アンケートではなく。
- ✓ 機器の設定が各校で違っており、特にネットワークの回線状況が違う。特に会場校となる宝栄小は PLC 回線であり、今回はネットワークにつながない状態での使用を考えた。しかし、これも数年後の回線の改修がなされれば、この研究あまり意味のないものになってしまう。今なのかこれからなのかの割り切りが難しい。
- ✓ 今回の研究で生活・総合の先生から連携の依頼があった。また、NHK for School の映像クリップの活用に関して、理科部とのコラボを予定している。研究の方向は明るいが、動ける部員の確保ができない。意欲的であっても現場の多忙化のなかで研究の進め方を考えていきたい。

## 6 研究発表等を実施した日・場所・参加者数を記載してください。

日程 平成30年2月16日

場所：大阪市立宝栄小学校

参加者数：約360名